

点 訳 通 信 第 2 2 号

日本ライトハウス  
盲人情報文化センター

点字製作係  
〒550 大阪市西区江戸堀1-13-2  
TEL 06-441-0015

私 の 点 訳 ラ イ フ

古江京子

子供の頃、鍼灸院へ行くと、いつも厚手の白い紙に点々の打ち出されたものが置いてありました。私が点字に出会った最初でした。二度目は娘が高校の時、盲学校へ見学に行つて『点字毎日』を貰つてきた時でした。そんな頃、「何かしたい人の為に」という見出しで点訳をしている方のことが、新聞の家庭欄にのつたことがありました。

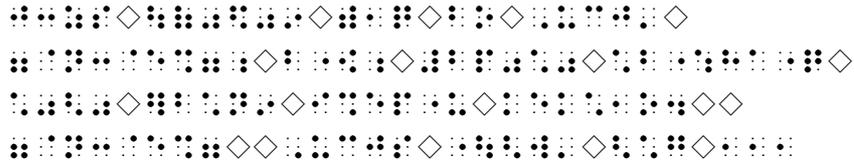
御縁があつたのでしょう。社交下手な私は、一人でこつこつやれるこんなことが向いているのではないかと思ひ付き、日点の通信教育を受けて読みや、ますあけ等、大体分かりかけた頃、偶然出会つた旧知から森さんのことを聞き、ライトハウスを訪ねたのが始まりでした。

当時は自分の好きなものばかり点訳できましたので、もともとやりたいと思つていた浄土真宗関係の本ばかり点訳してきました。読みなど難解なものを著者にお聞きしているうちにご懇意にして下さる方もあり、まるで浄土から発信された様な年賀状など頂くようになりました。故人となられた方を含めて、こよなき善知識に巡り会えたこと、又読者のなかからも「こんな本が読みたかった」と手紙を下さる方もあり、（以前は読者からの手紙を歓迎していました）これ又励まされると同時に、得難い御同胞として今尚、お手紙をやりとりする間柄であること等私の点訳ライフの大きな大きな頂きものという他ございません。

今は方針が変わつて、あまり自分のやりたいこともできなくなつて残念ですが、パソコンに向かわないと落ち着かない日々となつている私でございます。（ふるえ きょうこ）







Q

「相談したその上で事を決める」という時の“その上”は、切ってもいいように思いますが  
どうでしょうか。『表記辞典』には「その上に置く」と「その上文句まで言う」の例しかで  
ていません。

A

「その上」は、文法上2通りに分類されます。

[Ⅰ] その(連体詞) + うえ(名詞)

この場合、「自立語の前は切る」のルールに従って分かち書きをします。

(用例) ①店の造りは一階がクリスタル・ルーム、その上はダンスホールになっていた。

②彼女は、半袖のセーターを着て、その上に薄手のジャケットを羽織っていた。

③彼のグルメ振りはなかなかのものですが、噂によるとあなたはその上をゆく  
とか……

[Ⅱ] 接続詞的に用いる連語

辞書によっては、接続詞としているものもあります。これは、一語扱いなので切れ  
ません。

「その上」を「さらに」とか「それに加えて」と置き換えてみてください。違和感  
がなければ、接続詞的用法です。

(用例) ①この仕事はかなり体力を使います。その上、専門的な知識が要求される……

②時間や周りを気にせずに自分流の旅を楽しみたいね。その上美味しい食事にあ  
りつけば言うこと無しだ。

③今でさえ仕事がハードなのに、その上ノルマまで課せられたのではたまったも  
んじゃない

## BASE 応用操作

## コピー／移動

一般のエディターには、ブロックコピーができるものが多いですね。BASEでは、どうしたらいいでしょう？

BASEの場合は矩形を指定してコピーする事はできません（意味がありませんね）。しかし、行単位で別の場所にコピーする事は可能です。元の行を残して、別の部分に書く場合（コピー）と、元の行を消して、それを別の場所に書く場合（移動）とにわけて説明します。

行記憶は、F・8で行えます。以下の画面で、2行目から8行目までF・8を7回押します。そしてカーソルを15行目に移動して、F・9を押すごとに、最後に記憶した行から1行ずつ復活します。

```

1:
2: ◆
3:
4:
5:
6:
7:
8:
9:
10:
11:
12:
13:
14:
15:
16:
17:
18:
19:
20:
21:

```

移動の場合は、消した行が記憶されますので、それを別の場所で復活する方法をとります。行削除はF・7ですが、これは削除するつど押さないといけません。何頁もの内容を移動したい場合は、CTRLキーを押しながら「Y」キーを押し続ければ、連続削除ができます。復活はF・9ですが、これ



「～て○○○」は分ける？

「言っただけ」は分けるのか続けるのか迷ったりしませんか？ 第16号で「取って返す」等を取り上げられましたが今回はもう少し幅を広げて一覧表にしてみました。（木下正義）

(\*・・・両方あるもの    ○・・・表記辞典以外に載っていないもの)

続ける	分ける	分ける (補助動詞)
打って変わる	言っただけ	ある 書いて/ある
打って出る	○打って/取る	置いて/あった
取って返す	推して/知るべし	いく 連れて/いく
○取って退 (の) く	買って/出る	去って/いった
○取って出る	買って/帰る	いる 知って/いる
見て取る	かてて/加えて	入って/いた
	○きって/取る	おく 放って/おく
	○決めて/かかる	取って/おいた
語頭の「い」が省略された場合	食って/かかる	くる 寄って/くる
	*して/みると <small>[注1]</small>	持って/きた
	*して/やったり <small>[注2]</small>	くれ やって/くれ
言っただけ (い) ない	○しよって/立つ	して/くれた
思っただけ (い) なかった	○責めて/出る	しまう 食べて/しまう
して (い) やがる	取っておき <small>[注3]</small>	食べて/しまった
なっただけ (い) くだ	取って/かわる	まわる 持って/まわる
	取って/付ける	見て/まわった
	○はいて/すてる	みる 振り返って/みる
	降って/涌いた	聞いて/みた
	*見て/くれ <small>[注4]</small>	もらう 調べて/もらう
	*持って/来い <small>[注5]</small>	助けて/もらった
	○やって/のける	やる 買って/やる
	よって/たかって	教えて/やった
	○わって/はいる	

[注]

1. してみると → 接続詞的用法……すると、それならばの意 = 続ける
2. 取っておき → 名詞……“後日のため大切に取っておくこと、又はそのもの” = 続ける
3. して/やったり → 動詞+助動詞……まんまと = 続ける。「してやられる」も同じ
4. みてくれ → 名詞……見かけ、外見の意 = 続ける
5. もってこい → 名詞……あつらえむき = 続ける

- ◆ ～て〇〇〇が続くのは、慣用句の場合です。「〇〇〇して、〇〇〇する」という様に、明らかに2つの文節に分けられるときは、ルール通りに切ります。

[例] ◎好きなものをよく見て取りなさい。

◎机の上の鍵をとって出て行きました。

◎先に2箱取って返しました。

## 投 稿

### 点訳通信・第20号「第2校正者からのお願い」について一言

「原本に点訳ページを書き込んでおいて下さい」というご意見はよく解ります。それに加えて、次のような事柄を励行してゆくことを改めて提案します。

- ①原文の語句が造語などで、該当する読みが見当たらない時に、「私は、こうしました」とコメントを記入しておく。
- ②点訳者が意識的にこだわりを持って、敢えて通例を破る読みや分かち書きを適用したときは、その旨を記入しておく。
- ③誰かと相談の結果きめた場合は、そのことを記しておく。
- ④辞書で調べたときには、使用した辞書名を記入しておく。

点訳・校正の作業をするなかで出てきた問題を共通のテーブルに載せて、皆のものにしてゆくことも大切なことのように思います。

蛇足ながら……

『校正用の原稿や原本を持ち帰るのは、重くて大変』『腕や肩が痛いとき辛い…』という文章がありました。たしかに、女の（男も！）細腕（？）にとって、何巻分もの校正原稿を運ぶのは重労働に違いありません。私自身は分割して持ち帰るようにしています。もし、そのことがボランティアの肉体に負担や障害となるということであれば、それは校正本来の問題とは別のことがらです。パソコン点訳による点訳ボランティアの視力低下がときどき話題に上りますが、これなども同じような問題を含んでいるように思います。ボランティア保険はありますが（ちなみに、ギックリ腰はボランティア保険の対象にはなりません）、ボランティアに労災は適用されませんから、くれぐれも御身ご自愛に心がけなければ成らないのが現状なのかもしれません。

マスコミがボランティア元年などと市民のボランティア活動参加を煽っている昨今、ボランティアの社会保障については今後の課題になっていくと考えますが、これは別のところでしっかりと取り組んで欲しい問題です。

要は、「点訳者も校正者も技術や知識だけを使うのではなく、心も一緒に使いましょう！」ということでしょうか。蛇の足にしてはちょっと大袈裟すぎたかもしれませんが、悪しからず。（と）

【編集者から】 ほかにも「この項については、点訳ページの記入のことだけを記事にすればよいことです」という主旨の投書もありました。有り難うございました。

### 校正表から

ある時ふと、最近2校の校正表の量がかなり減ってきたことに気づきました。点訳者の入力ミスが減ったこと、校正前の自分での見直しがしっかりしてきたこと、初校の読み合わせ校正での発見率が上がったこと、修正の際のミスも減ったこと、などなどいろいろな要因が重なったの結果でしょう。

このこととは逆に、本来なら2校ではチェックしなくてもすむミスが案外あることにも気づきました。というのは、初校の読み合わせでミスを見つけ、原本には印をつけておられるにも関わらず、データの修正の際これを見落としてしまうケースで、サイド2校でチェックされるケースです。「読み合わせの時は修正した方がいいように思ったんだけど、あとでよくよく考えて見ると、やっぱりこのままの方がいいんじゃないかな」と思われることもあるでしょう。そんな時は、2校者にわかるように原本にちょっと意見を書き込んで置いていただければ助かります。

読み合わせの際気づいたミスの修正もれをなくするだけで、一段と2校の校正表が少なくなります。いっそうのご協力をお願いします。

### パソコン講座

— 楽しいMS-DOS —

\*\* 農具のこと（ハードウェア） \*\*

### ○CPUとは

パソコンの中で、計算をしたりデータのやり取りを指示する、指令塔の部分です。言ってみれば、「いついつ種を蒔きなさいよ」とか「あれを取り入れて出荷しなさい」などと指示を出す農協のよう

な所とでも理解して下さい。いろいろな種類がありますが、大きく2種類の流れに分けられます。

一つはIBM系の農家が加入してきたインテル社というところの作っている8086系農協と呼ばれるものです。この農協は8088という型番に始まり、80286、80386、80486と進化をたどってきました。当然次期発表の形式は80586ということになるのでしょうか。

もう一方の系列は、モトローラ社の68000系農協で、これも68010、68020、68030、68040と進化してきています。

いま日本のパソコン農家の中で68K系を採用しているのはシャープのX68000くらいのもので、AppleかX68000のユーザー以外のあなたはインテル農協のしもべということになります。

## ○16ビットパソコン／32ビットパソコンとは

農協にいる職員の数が異なります。16ビットパソコンには16人、32ビットパソコンには32人いると考えて下さい。

16ビットパソコンでは各季節に合わせた農作業の指示出しに忙しくて、複数の作業をこなすことは難しいのですが、32人いれば、20人くらいを本来の農作業の指示係りとし、後の12人で別の作業（農具の販売とか、肥料の販売とか、あるいは別の地域の農作業の指示とか）を行ったりもできます（こういう状態をマルチタスクと言います）。これからの機器としては、マルチタスクの可能な32ビット農協がお勧めです。

## ○クロック周波数とは

農協の職員の作業効率のことです。

つまり農協によって、その職員の仕事の速さにもランクがあるのです（但しこの場合同じ農協で作業している人はすべて同じ能力だと考えて下さい）。

例えば16ビット・12MHzのマシンなら16人の職員それぞれが1分間に12回ずつ、32ビット・20MHzのマシンなら32人の職員が1分間にそれぞれ20回ずつの指示を出せる事だと思えばよいでしょう（両者でずいぶん作業量が異なるのがわかりますね）。

最近ではマルチタスク環境が流行っていますから、16回／分以上の作業員が32人いる農協に加盟するのが賢明です。

## \*バスとは

どれだけ早く畑から作物（データ）を採ってもその作物を市場に輸送しなければ作業は終了しません。バスというのは作物（データ）を運ぶ経路の太さと考えればよいでしょう。

80386CPUは32ビットで、中では32人の農協職員が同時に働いているわけですが、ここから出されるいろいろな指示に従って、お百姓さんが取れた作物をトラックに積み込み、市場に送ります。この時、80386CPUでは32人でトラックへ積み込むので、作業は早く済みます。80286までのCPUでは16人で同じ作業を行なうのです。ここでかなりの差が生じます。

さてトラックは出発し、CPUの外に出ました。80286までの16ビットマシンでは16ビッ

トバスですから16台のトラックが1度に通れる幅の道がある（実際はそんなに広い道はないでしょう）ということです。これに対し、80386DX以上のマシンでは32ビットバスですから32台のトラックが1度に通れる幅の道を持っていることになります。つまり、バス幅とは採れた作物を運ぶトラックが何台横に並んで運べる道があるかと考えればよいでしょう。

では、80386SXと同DXの違いはどこにあるのでしょうか？ これは、CPU外部のバス幅の違いです。

お百姓さんの積み込む速度と道路の渋滞の度合いとをはかりに掛けると、やはり積み込みの速度の方がネックになり易いということで、80386SXでは、CPU外部のバスを16ビット幅として低コスト化を図っているのです。一般的にSXはDXに対し、同じクロック周波数動作ならばトータルで約3割のスピードダウンとなるようです。それでも80286に比べれば4～6割のスピードアップでしかもソフトウェアから見たら（農協での手続きの仕方など）80386そのものということで意味があるわけです。

増設ボードを差し込む部分に、内部スロットと外部スロットという物もあるのでついでに書いておきます（ここもバスです）。

普通の386CPUを使用したPC-9801シリーズ（DS以上）では、外部スロットは16ビットバスで低速です。これは、それまでの98シリーズの資産でもある、サードパーティー製ボードがそのまま使えるようにとの配慮なのでしょう。しかし、ここにEMSボードなどを差して頻繁にデータのやり取りなどをしては、せっかくの32ビットCPUの高速性が泣きます。この規格に32ビットバスを使用しているのはPC-H98シリーズではNE SAバスと呼ばれているものがあります。ただし、まだNE SA規格のボードがあまり発売されていないのであえてH98を選ぶ意味はないようです。もっともよくした物で、NE SAバススロットには従来の16ビットバス用ボードも差せるようになってはいますが、．．（あまり意味はないみたいですね）。

また、内部スロットと呼ばれる、本体カバーを外さないと見えない主記憶増設などに使われるスロットもあります。386マシンでは外部スロットと異なり、ここは32ビットバスとなっているので高速にデータの受け渡しができます。従って、386以上のPC-9801シリーズ（H98を除く）では、ここにメモリ増設を行ない、EMS等に利用するのが正しい方法です。

（つづく）

**【編集者 [注]】** この記事が書かれたときから若干の年数がたち、ハード面での進化が見られます。例えば、CPU「80856」は「Pentium」という名前で発売されています。しかし、基本的なとらえ方は今も変わりありません。この文章は、パソコンやソフトの仕組みを農業に例え、分かりやすく説明されているので、今後も続けて行きたいと思っています。

登録されている辞書、ジャンルなど。（登録件数 一般：70,000件 人名：18,000件）

▼落語の外題を数多く登録しました。一般的に使う機会は少ないかと思えるかもしれませんが、意外なところで役立つこともあると思います。

▼現在活躍中の各ジャンルの著名人6000人を新たに登録しました。電子ブックの『30万人よみ方書き方辞典』に登録されている人名は1988年までに刊行された図書の著者（编者・役者も含む）名や、著名人ですので、その後の人名の検索はこちらの方が適しています。

今後ともあらゆるジャンルの言葉をどん欲に登録して行くつもりです。

▼読み方調べに利用できる電子ブックを18タイトル購入しました。すでにお使いの方はご存じでしょうが、簡単に調べることができ、また登録されているデータ量が豊富で、今まであきらめていたものも載っていたりして思わずのめり込みそうになりそうです。

電子ブックは漢字から検索するには多少の工夫が必要ですが、当センターで作成している「読み方調べ」辞書は、漢字から直接検索する事ができます。

◇地名・その他の固有名詞

現在の郡名／現在の市区町村名／山岳名／河川名／外国名／外国都市名／駅名

◇人名

法律家名／戦国人名／漫画家名／相撲人名／天皇名／漢字で書かれた西洋人名／衆参議員名／閣僚名／大使名

◇その他

元号名／年中行事／役職名（江戸時代）／漢方医学関係用語／植物名／鉱物名／四字熟語／馬術用語／競馬用語／歴史用語／考古学用語／古墳・墳墓名／遺跡名／暦／書名（日本の古典）／古文書関係用語／落語の演題

◎登録辞書（登録中も含む）

☆『大江戸おもしろ役人役職読本』

☆『古文書難語辞典』

『河川よみかた辞典』日外アソシエーツ

☆『漢字ハンドブック』

『季語集』水原秋櫻子

☆『古典落語事典』永田義直

☆『古墳辞典』小林三郎

『市町村名変遷辞典』地名情報資料室

☆『人物ファイル'93』樺山紘一ほか

☆『戦国人名辞典』高松年一ほか

『大辞林』

『知恵蔵'94』朝日新聞社

☆『日本考古学小辞典』江坂輝彌ほか

☆『日本軍隊用語集』寺田近雄

☆『日本史用語の基礎知識』武光誠

☆『日本の古典名著総解説』赤塚忠ほか

『20万語よみ方書き方辞典』日外アソシエーツ

『法律用語辞典』内閣法制局

☆『郵便番号簿』郵政省

[☆印…登録済み 無印…登録中]